

★ 小豆 オオタバコガ情報 ★

現在、小豆は開花後期～莢肥大期にあると思われま。この時期にはチョウ目害虫の被害に十分注意する必要がありますが、その中でも、近年、**オオタバコガ**の被害が目立ってきています(写真1 矢印、図1)。



写真1 小豆の莢を食害するオオタバコガ(矢印)

オオタバコガの発生状況

平成23年9月中旬に実施した巡回調査におけるオオタバコガの発生状況は、**昨年に次ぐ多い発生**でした(表1 網掛け部分)。

また、フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、**9月上旬から増加傾向**を示しており、8月第5半旬から9月第2半旬まで(亀岡市は8月第6半旬から9月第3半旬まで)の誘殺数の合計は、京丹後市では平年並でしたが、**亀岡市、京田辺市では平年比やや多い発生**でした(表2)。

以上の結果に加え、9月16日発表の近畿地方の気象の1か月予報によると、降水量は多い(台風)ものの、**気温は平年並または高いと引き続き高温傾向**が予想されており、**オオタバコガの発生、増殖に好適な条件**が続く見込みで、今後、昨年と同様に葉、子実に大きな被害が出る事が予想されます。

現在、水稻の収穫等で多忙な時期ですが、防除対策を怠らないようにしてください。

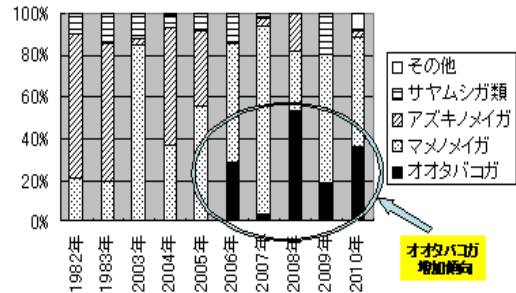


図1 府内小豆ほ場におけるチョウ目害虫の種構成割合の推移(鴨志田ら、2011)

表1 小豆の巡回調査におけるオオタバコガの発生状況

年次/調査項目	寄生株率(%)	寄生虫数(頭/25株)	発生ほ場率(%)
H23	8.5	2.5	75.0
H22	11.5	3.1	75.0
H21	2.5	0.8	25.0
H20	5.6	1.5	50.0

表2 フェロモントラップ誘殺数(オオタバコガ)

設置場所	京田辺	亀岡	弥栄
H23	8.1	98.9	0.0
(平年値)	(2.4)	(50.8)	(4.1)
発生状況	平年比やや多い	平年比やや多い	平年並

表中の数値は8月第5半旬～9月第2半旬の合計値(但し、亀岡は8月第6半旬～9月第3半旬の合計値)

防除対策

- オオタバコガに適用のあるBT剤(サブリーナフロアブル、チューンアップ顆粒水和剤)を使用してください。
- 齢が進んだ幼虫は薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- 子実害虫類(アズキノメイガ、マメノメイガ、サヤムシガ類など)、ハスモンヨトウ(防除所ニュース平成23年第5号参照)等の発生にも注意してください。
- 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用してください。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」をご覧ください(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)。